

# 第3期 報告書

自 平成26年 4月 1日

至 平成27年 3月 31日

I Rいしかわ鉄道株式会社

# 事業報告

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

## I 会社の現況に関する事項

### 1. 当事業年度における事業の経過及びその成果

当期における我が国経済は、消費税率引上げの影響を含めた物価の上昇に家計の所得が追い付いていないことなどから、個人消費等に弱さがみられますが、総じて緩やかな回復基調が続いており、本県経済においても、景気の緩やかな回復基調が続いております。

当社は、このような経営環境の下、北陸新幹線・長野～金沢間の開業に伴い、西日本旅客鉄道株式会社（以下、JR西日本と称す。）から並行在来線「金沢・倶利伽羅」間17.8kmを「IRいしかわ鉄道線」として引き継ぎ、平成27年3月14日、運行を開始いたしましたところであります。

平成26年4月からIRサポートキャラバンとして、県民の並行在来線への理解を深めるとともに当社の認知度向上を図るため、石川県や県内市町と当社が連携して県内のJR北陸本線・七尾線の全37駅で周知活動を実施しました。

11月1日には、本社を石川県庁舎から現在地へ移転し、12月19日には、旅客運賃の上限について、申請どおり北陸信越運輸局から認可を受け、同月22日に実行運賃の届出を行い、平成27年2月には沿線住民を対象に、運賃やダイヤ等についての説明会を実施するとともに、開業に向けて各許認可申請や関係機関との調整等を進めてまいりました。

平成27年3月14日、開業日当日は金沢駅において、国土交通大臣や県内各界の御来賓をお招きして開業出発式を行ったほか、津幡駅においても出発式を執り行うなど沿線各駅においてイベントを開催し、開業記念入場券やオリジナルグッズ等の販売も行い、非常に多くのお客様にご利用いただきました。

また、運営に必要な社員の確保のため、社員3名を新たに採用したほか、JR西日本から新たに42名の出向者を受け入れております。

今期の営業収入としては、平成27年3月14日からの旅客運輸収入が91,001千円、鉄道線路使用料収入が32,143千円、運輸雑収が38,460千円で計161,605千円の営業収益となりました。

一方、営業費用については、人件費をはじめ備品・消耗品の購入、委託駅に係る業務委託の費用等により計208,885千円の営業費用となり、47,280千円の営業損

失を計上することとなりました。

また、特別利益としては、石川県からの補助金収入 6,214,645 千円があり、特別損失としては、補助金で取得した土地・建物及び車両等の固定資産の圧縮損が 6,208,224 千円あった結果、税引前当期損失は 48,532 千円となり、法人税等を加算した当期損失として 50,884 千円を計上するに至っております。

なお、旅客輸送状況については、次のとおりとなっております。

区分	平成 26 年度 (3/14~31)
定期外利用者	220 千人
定期利用者	226 千人
通勤	124 千人
通学	102 千人
合 計	446 千人

## 2. 対処すべき課題

輸送の安全こそが最も重要なサービスであるとの認識を徹底し、「輸送の安全性」を最優先に、「利用者の利便性の向上」、そして「経営の安定」に取り組み、将来にわたって住民生活に欠くことのできない重要な交通手段として存続させていく必要があります。

そのためには、経営の効率化と併せ、利用者の増を図っていく必要があります。地域住民の方々に IR いしかわ鉄道線は自らの鉄道であるというマイレール意識をもつていただくことが重要であり、行政や地域住民とも連携し、利活用促進に取り組んでまいります。

地域と連携した駅を活用したイベントやイベントに合わせた臨時列車の運行、企画商品の造成、接客サービスの向上等に注力するとともに、お客様の声を広く集め、営業施策に活用してまいります。

また、平成 29 年に設置が予定されている新指令についての検討を進めているところであります。

(参考)

4月までの利用状況

区分	H27.3.14～3.31 (18日間)	H27.4.1～4.30 (30日間)	H27.3.14～4.30 (48日間)
利用者数	約446千人	約842千人	約1,289千人
(一日あたり)	24,788人/日	28,080人/日	26,845人/日
うち普通列車利用者数	約423千人	約813千人	約1,236千人
(一日あたり)	23,513人/日	27,084人/日	25,745人/日
定期外利用者	10,974人/日	7,252人/日	8,648人/日
定期利用者	12,538人/日	19,832人/日	17,097人/日
通 勤	6,904人/日	7,661人/日	7,377人/日
通 学	5,634人/日	12,171人/日	9,720人/日

## 貸 借 対 照 表

平成 27 年 3 月 31 日 現在

(単位 : 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流 動 資 产	8,515,302	流 動 負 債	7,010,773
現 金 及 び 預 金	1,627,377	リ 一 ス 債 務	1,336
未 収 運 費	99,451	未 払 金	6,800,001
未 収 金	6,252,503	未 払 法 人 税 等	4,396
未 収 消 費 税 等	491,712	預 り 連 絡 運 費	94,321
貯 藏 品	34,271	前 受 運 費	105,693
前 払 費 用	8,192	賞 与 引 当 金	3,671
その他の流動資産	1,793	その他の流動負債	1,352
固 定 資 产	9,401	固 定 負 債	4,804
鉄道事業固定資産	6,810	リ 一 ス 債 務	4,106
投資その他の資産	2,591	退職給付引当金	697
差入保証金	2,200		
長期前払費用	391	負 債 合 計	7,015,578
繰 延 資 产	326,577	(純資産の部)	
創 立 費	1,634	株 主 資 本	1,835,702
開 業 費	320,052	資 本 金	2,006,000
株 式 交 付 費	4,890	利 益 剰 余 金	△170,297
		繰越利益剰余金	△170,297
資 产 合 计	8,851,281	純 資 产 合 計	1,835,702
		負 債 ・ 純 資 产 合 計	8,851,281

## 損 益 計 算 書

自 平成 26 年 4 月 1 日

至 平成 27 年 3 月 31 日

(単位 : 千円)

科 目	金 額
鉄道事業	
営業収益	161,605
営業費	208,885
営業損失	47,280
営業外収益	
受取利息	892
雑収入	1,225
	2,118
営業外費用	
創立費償却	700
開業費償却	5,424
株式交付費償却	3,667
	9,792
経常損失	54,954
特別利益	
補助金	6,214,645
特別損失	
固定資産圧縮損	6,208,224
税引前当期純損失	48,532
法人税、住民税及び事業税	2,351
当期純損失	50,884